

いわみざわ



発行所 陸上自衛隊 隊地会
岩見沢市日の出台2-7
印刷所 北海道立福祉社
空知郡栗沢町最上380
番 (0126) 45-2721

第12施設群に 第302坑道中隊新編

一施設群に次いで全国二番目

第十二施設群(群長 多田紀幸一佐)に新たに七番目の中隊、第三〇二坑道中隊が、先に編成された第一施設群第三〇一坑道中隊に次いで、全国二番目として編成された。三月二十九日駐屯地において、能勢邦之岩見沢市長、笠原喜平自治衛隊協力会岩見沢隊区連合会会長、長崎進隊友会岩見沢支部長等多数の来賓の参列をいただき、隊旗授与式を挙行了。式では、初代中隊長熊谷裕文三佐が編成担任官の太田貴稟団長に編成完結を報告し、団長から中隊長へ真新しい中隊旗がしっかりと手渡された。式典の後、器材庫に移動した来賓に対し、坑道小隊長の



中隊旗を受け取る熊谷中隊長

田中均二尉から坑道掘削装置等新装備器材の展示説明が行われた。装備品をひとつひとつ実際に作動させ、パネルや模型を使用して細かく説明を行った。その後、会場を隊員食堂に移して群改編記念祝賀会を行った。群長の挨拶、来賓の祝福の言葉があり、続いて新生第十二施設群の門出を祝して、ダルマに目入れを行った。各中隊長が少しずつ目を書いて、最後に群長が大きな黒目を書き上げた。熊谷中隊長以下全員が「有事、真に役立つ部隊」を目指して、第一步を踏み出した。



ダルマに目を入れる群長

編成準備を振り返って

中隊長 三陸佐 熊谷 裕文

七年四月、坑道中隊編成準備室は至長一人という寂しい状態で発足しました。編成準備室としての当初の仕事は、群内各中隊からの編成要員の選抜でした。新編される中隊のスムーズなスタートを切るために、そして高度に機械化された装備品の能力を発揮していくために優秀な人材を確保しなければなりません。このため各中隊からは、「一人さらい」と言われつつも、その趣旨を理解していただき、断腸の思いで人材を提供してくださった各中隊長に対し、心から感謝する次第であります。これで、組織で一番大切な「人」が揃いました。

また八月、準備室に編成準備隊曹が配置になり、強い味方を得て次は物と場所、特に保管スペースの確保に入りました。まず、官用車の駐車場がありません。各中隊から編成要員の差し出し及び支援を受け、駐車場の造成のための測量、敷地造成、骨材・表層材の運搬数均等、約二カ月に亘る大工事を実施し、六千坪の駐車場を確保することができました。また器材庫の保管については、数多くの装備を保有する坑道中隊の新編に伴い、十二施設群全般の保管スペースが不足し、新たに器材保管庫を新設していただきました。これらの業務に当たっては、群長・業務隊長はじめ、群・業務隊長所掌各科の編成準備室への絶大なバックアップに対し、心から感謝申し上げます。九月から十一月にかけて陸曹二十名が、施設学校で実施

された坑道課程に入校、さらに中隊長・小隊長も聴講生として入校し、他部隊からの四名の入校者を圧倒しつつ、終始岩見沢のベイスで教育が実施され全員が優秀な成績で卒業しました。八月一からは編成準備室の常勤者も十名になり、必要に応じて編成要員全員を召集し編成準備は着々と進行してゆきました。隊員達は、極めて多忙なスケジュールの中で東奔西走しつつも、新しい中隊を自分たちの手で作り上げてゆくんだという使命感に燃え、与えられた職務を整齐と遂行し編成準備を完了しました。三月二十九日、第三施設団長から中隊旗を受領し、第三〇二坑道中隊は編成を完結しました。坑道中隊は陸上自衛隊に二つしかない特殊な能力を持った中隊です。中隊の能力を十分に発揮できるよう訓練に精進し、二年前に編成された第三〇一坑道中隊に「追いつけ、追い越せ」を台言葉に「有事、真に役立つ部隊」を目指して隊務を運営してゆく所存です。

また八月、準備室に編成準備隊曹が配置になり、強い味方を得て次は物と場所、特に保管スペースの確保に入りました。まず、官用車の駐車場がありません。各中隊から編成要員の差し出し及び支援を受け、駐車場の造成のための測量、敷地造成、骨材・表層材の運搬数均等、約二カ月に亘る大工事を実施し、六千坪の駐車場を確保することができました。また器材庫の保管については、数多くの装備を保有する坑道中隊の新編に伴い、十二施設群全般の保管スペースが不足し、新たに器材保管庫を新設していただきました。これらの業務に当たっては、群長・業務隊長はじめ、群・業務隊長所掌各科の編成準備室への絶大なバックアップに対し、心から感謝申し上げます。九月から十一月にかけて陸曹二十名が、施設学校で実施



来賓に装備品の説明

生まれ変わった駐屯地

六年十二月から二年計画で進められていた隊舎新設など六件の建設工事は、途中天候に影響されたが、予定どおり七年十二月中旬までに全て竣工し、それぞれの生活、勤務施設の用に供されている。袖身者専用となる生活隊舎は、鉄筋コンクリート造り五階建てで、延面積五千六百九十㎡、長さ九十六mのクリーム系のスマートな建物となった。この建物には、多田司令官の発案による自衛隊のマスケット、ピケルス王子・パセリちゃんをアレンジした大壁画が両側面に描かれており、遠く岩見沢市内からも望まれ駐屯地の案内標識としてPR効果も上げている。また、隊員は訓練の合間、食事の時になどに目にとめ気分を和ませるなど好評を得ている。



間仕切りで個室化

この隊舎は、本部隊舎・隊員食堂・体育館等、生活・勤務施設に中空通路・地下道経由で、屋外を通ることなく往来できるように雪国の特性を配慮した構造になっている。隊員の生活用備品も全て新品で、搬入には駐屯地総力で一週間を要しその量は、大型トラック十台分にもものほった。小さいものは、温湿度計から大きいものは間仕切りパーテーションまで、総額四千八百万円で一人当たり二十一万円にもなった。個人用品、共用品とも生活必需品なので大切に使用して欲しいものだ。なお、併設の医務室は新年早々から業務を開始している。その他、本部隊舎は勤務専用として改修され内外装とも新築同様に、米改修部分は将来実施することになっている。十七号器材庫は外装改修、駐屯地から日の出宿舎間の生活道路三百三十mは、全てアスコン舗装になり穏やかな勾配に変身した。これらの総工事は十八億円にもほり施工業者は七十社、従事者千名をこえる創設以来の大事業となった。



スマートで快適な新隊舎

隊友会岩見沢支部

『隊友の集い』開催

四十三名が参加し旧交を温める



老いてなおはつらつの参加会員一同

岩見沢支部は三月十日、岩見沢観光ホテルで平成七年度最後の支部行事である『隊友の集い』に、四十三名の会員が参加して盛会を行った。この『隊友の集い』は会員の最もリラックスしてくつろげる会でもあり、一番楽しみにしている行事である。

岩見沢の南東の小高い山頂にある岩見沢観光ホテルの大広間と娯楽室を半日貸切りでそれぞれ思い思いの娯楽を楽しんだ。中には午前中から来て、ゆったりとラドン湯で体を癒し、囲碁、将棋、マージャン、はたまた久し振りに再会した同僚と近況を語りながらそれぞれ旧交を温めあっていた。

十六時半から記念撮影を行い、十七時から懇親会が始まった。司会進行は、その筋のプロ級の実力のある小山正司会員が担当である。

まず最初に、この会の幹事である黒田悟副支部長が開会の挨拶を行い「これだけ多くの方々のご参席をいただき幹事として厚くお礼申し上げます。折角の機会でありますのでどうかごゆっくりご歓談下さいませようよろしくお願ひ申し上げます」と心温かく開会を宣言され、引き続き、長崎支部長から「最近の駐屯地の状況について、特に第十二施設群に新しく坑道中隊が編成されること、また豊浜トンネル事故で自衛隊が災害派遣したこと、国際情勢、特に中国の台湾海峡での大規模演習に伴う緊張した状況のなか、一触即発も危惧される事などを話された。更に、今日の『隊友の集い』は会員相互の親睦を図り、心身共にリラックスし楽しい思い出になるよう十分に英気を養い、今後ともこつした会にはお元気で参加

されるようお願いいたします。なおこの会を準備してくれた黒田さんをはじめ、幹事の皆さんに厚くお礼申し上げます」と温かい挨拶をされた。

引き続き当支部の顧問である藤富天氏が年初の挨拶を兼ねて最近の市政の状況を、極めて簡潔に分かりやすく話され盛んな拍手を受けた。

会はいよいよ乾杯に移り、恒例にならって乾杯の発声は岩見沢支部に入会した一番若い方となっているので、今日はその出席者の中で遠藤勝洋会員が司会から指名された。

遠藤さんは、はっきりとした口調で新入会員としての挨拶をし、「隊友会が益々活性化すると共に皆さんのご健勝を祈念し、乾杯！」と若々しく発声し、懇親会が開始された。

あちらこちらで、再会の嬉しさを顔一杯に表現しながら近況を語り合う景況は本当に楽しそうである。寂もたけなわになり、幹事である黒田副支部長が考えた会員個々の氏名ピンゴゲームをやり、一字一字平仮名を抽選する度に「ピンゴー!」「ピンゴー!



ピンゴゲームを進行する幹事達

の声飛び交い、懇親会も次第に盛り上がりつつあった。今度はカラオケが始まり、幹事の田中久会員がトップバッターで「ささなかの宿」を歌い、次々と美声を発揮し盛んな拍手を受けた。

最後に、顧問の田田忠憲氏のリードで北部方面隊歌を全員で合唱しお開きとなった。帰り際、車庭から参加した寺島利博会員は「素晴らしい半日でした。心身共にリフレッシュができました。五月に行われる総会にはまた参りくださいました」と、言って清々しい気分での帰途についていた。

「人生を語り合える友がいるから明日がある」

細川 記

「岩見沢支部」への入会のお勧め

岩見沢支部は、その会員数百七十名を数え、長崎進支部長を中心にして極めて楽しく、かつ有意義に会を運営し、年毎に活性化を図っている。

特に、最近定年で退官される自衛官及び事務官等は全員入会しており会の良さが浸透してきたものと思われ。

会員は、全員が対等な立場で団結の輪を広げ、お互いに人格を尊重し、自分達で楽しい会にしよと努めている。

例えば、ボウリング大会、隊友の集い、各種懇親会、駐屯地創立記念行事参加、定期総会等、年に数回は旧交を温める機会がある。また会員等の冠婚葬祭の緊急時には、会員相互の連絡網で迅速に連絡し対処している。

本会の組織の役員も、二年毎に会員の互選により決めるので、マンネリ化を防止し、常に清新な運営を行って会員の期待に応えるべくつとめてい



楽しく近況を語り合う

る。特に、当会の浅沼裕市事務局長はその企画・調整・実行振りは公平かつ客観的で、否の打ち所がなく、常に会員一人ひとりのことを考え、更に、会員全体のことを捉えて大局を律してくれるので、極めてフェアに事務処理を運ぶ全会員からの信頼と信望が厚い。

岩見沢支部は、既に自衛隊を定年、任期満了、依頼等で退職されて本会に未加入の方、また、これから自衛隊を退職される方で、岩見沢市内及びその近郊に居住する方は、是非隊友会岩見沢支部へのご入会をお勧めします。

ご入会ご希望の方は、岩見沢支部事務局、浅沼裕市(岩見沢市南町四条二丁目六十三番地)電話〇一二六-二四一六二(三)へご連絡下さい。入会手続き等についてお知らせ致します。

自衛隊退職者雇用協議会
岩見沢支部
 事務局：岩見沢商工会議所内
 支部長：勝井祐輔
 TEL：0126-22-3445

千葉電気工事株式会社
 代表取締役 **千葉嘉男**
 岩見沢市東山町22番地71
 電話(0126)24-4567番

近江建設株式会社
 特定土木建築許可一級建築士事務所
 取締役会長 **近江章**
 代表取締役社長 **近江雅章**
 本社 岩見沢市4条東17丁目48番地 電話 23-3026
 FAX 25-0582
 支店 札幌市中央区北1条西20丁目 電話 643-2669
 南本ビル4F FAX 643-2616
 支店 三笠市南松町1丁目374 電話 2-3179

雪害18年振りに出動

第十二施設群は二月二日から五日までの間、岩見沢・三笠両市の雪害に対して、北海道知事からの災害派遣の要請を受け十八年振りに出動した。

都市部としては道内有数の豪雪地帯岩見沢も、今冬は断続的に降り続く大雪が、二月一日現在で総降雪量約七mに達し、幹線道路の除雪も追いつかない状態、また、三笠市でも家屋の屋根に一mを越す雪が積もり、除雪の追いつかない独居老人宅等は危険な状態になっていった。



市道の除排雪（岩見沢市）

岩見沢市内は第三三七施設中隊が、南恵庭の第三〇三ダンプ車両中隊の支援を受け、大型ダンプ十四台、ロータリー車一台、グレーダー二台で、市道東十七丁目線、新東町中央線等の除排雪を行った。三笠市内は第三三五施設中隊が、滝川の第十普通科連隊と共に、美園・若草地区の除排雪を実施するとともに、一個班九名編成で市内各所に分散し、急傾斜地などの独居老人及び身障者宅周辺の除排雪を実施し、火災や患者搬送等の緊急時に備えての交通路を確保した。今回の派遣で実施した作業量は、岩見沢地区では四日間延べ人員二百三十一名、輸送台数六百四十七台、作業距離六二km、総排雪輸送量六千五百二十t。三笠地区では、四日間で延べ人員四百二十五名、排雪輸送台数六百九十四台、作業距離三八km、総排雪輸送量三千四百七十五t、独居老人及び身障者宅六十九世帯。



屋根の雪下ろし（三笠市）

団冬季戦技競技会惜しくも四連覇ならず

二月八日、南恵庭駐屯地及び北海道大演習場において七年度第三施設団冬季戦技競技会が開催され、四連覇を狙ったが惜しくも第二位となった。この大会、昨年は阪神大震災のため中止となったが、第十二施設群は二年度、三年度、五年度（四年度は中止）と三連覇中であり、四連覇を目指し昨秋からスキー特戦隊を編成し訓練してきた。競技は、最初の一般走は第三三三六施設中隊の柴田二曹がラップタイム一位をとったものの第一施設群と十三秒差で惜しくも第二位。続くアキオ曳行機動は二位の集成直轄部隊に三十三秒差をつけ第一位となり、午後、階級別リレーに期待をつないだ。階級別リレーは、応援団の声援にも熱が入り、選手一人一人も抜きつ抜かれつの結果を見せたが、第三位の結果となり総合成績で第二位となった。しかし、群全隊員は、特戦隊の健闘を讃えるとともに来年の優勝を目指し新たなスタートをきった。



応援を受け力走する選手

◇7年度積雪地訓練◇

第十二施設群は二月二十七日から二十九日までの間、孫別演習場及び利根別自然休養林において七年度積雪地訓練並びに第三三六施設中隊に対し検閲を実施した。

各中隊は、東の空が白み始めた六時、駐屯地を出発しスキー機動により約十八kmのコースを踏破し、引き続きイグルーを構築、全員が雪洞に宿営し雪中機動能力及び宿営能力の向上を図った。この間、第三三六施設中隊は、防衛における施設支援を受閲し、中隊長高木一尉を核心とし、全員の昼夜をわかつた。

ぬ不眠不休の努力と積極的な作業により「概ね優良」の評価を得た。



黙々と陣地を構築する



岩見沢ドカ雪祭り



北村田舎フェスティバル

冬のイベント支援



三笠冬の恐竜祭り



月形スノーフェスティバル

オール電化マンション
レジエンド (有) エイ
連絡先: 岩見沢市6条西7丁目
☎ 22-0087

総合商社
君島商会
☐本社 岩見沢市南町8条2丁目 ☎022-4613
☐志文支社 岩見沢市志文町2条3丁目 ☎22-5813
☐東沢支店 東沢町本町10 ☎45-2088
☐石油部 岩見沢市南町9条2丁目 ☎22-4565
☐自動車部 岩見沢市南町9条2丁目 ☎22-8434
☐オート用品 岩見沢市南町9条2丁目 ☎22-7861
☐コンパニ 岩見沢市南町8条2丁目 ☎24-8390
☐岩見沢南町店 岩見沢市南町8条2丁目 ☎25-4840

ビル管理部、北海道知事登録・元・清・第6号
はしもと商事株式会社
メンテナンスに関する事ならお任せ下さい。
親切・丁寧・確実
TEL・FAX(0126) 22-5546
岩見沢市駒園5丁目6

“終身保険の充実保障。”
○三大疾病 (リビングニーズ)
○余命6カ月前死亡保険支払
○通院特約
東邦生命
担当 深沢 隆子 (内線327)

安心とゆとりのプラン
協栄生命 LL・ワイド 1500 更新型
余裕資金を上手に活かして大型保障
協栄の保険料還元制度をご利用下さい。
定期特約付終身保険
協栄生命保険株式会社

500人収容の大宴会場から中小宴会場
でお待ち申し上げております
ホテル サンブラザ
岩見沢市4条東1丁目 ☎(0126) 23-7788

結婚おめでとぅ



本部管理中隊
二曹 白澤 正実
良子さん
3月6日



第三三七施設中隊
三曹 沼田富士雄
敦子さん
2月3日



第三三七施設中隊
三曹 谷 充晃
珠美さん
1月28日

ミニフォトニュース



冬季運動会 2月24日



駐屯地球技大会 3月19日

☆永年の勤務ご苦労様でした☆



業務隊
事務官 杉本 守
3月31日付



会計隊
曹長 安保 智春
2月28日付



会計隊
三曹 中山 浩明
二男 遼太郎くん
1月26日



第三三六施設中隊
三曹 五十嵐英樹
二男 陽介くん
1月4日



本部管理中隊
三尉 高倉 利美
就職先 (財)岩見沢地域交流センター
4月5日付



会計隊
三尉 阪田 茂俊
就職先 中央ビルメンテナンス
3月31日付



第三三六施設中隊
一尉 高木 茂
長男 健登くん
3月22日



本部管理中隊
二曹 池田 隆一
長女 梨央ちゃん
2月7日

♡こんにちは赤ちゃん♡

人事往來

◎転出

◎転入

<p>陸曹候補生指定</p> <p>第三二二施設器材中隊 陸士長 山田 隆 同 河目 善美</p> <p>第三三七施設中隊 陸士長 演砂 勉 同 小笠原 晶</p> <p>第三三六施設中隊 陸士長 吉山 幹雄</p> <p>本部管理中隊 陸士長 小笠原 晶</p>	<p>☆新規採用☆</p> <p>行(-) 小笠原 弾</p> <p>【第十二施設群】</p> <p>行(-) 小笠原 弾</p>	<p>【警務隊】</p> <p>一尉 杉本 勝男 二尉 東千歳</p> <p>【基地通信隊】</p> <p>三曹 今野 秀男 三曹 杉本 勝男</p> <p>【業務隊】</p> <p>一尉 小嶋 静生 一曹 齊藤 義則 一曹 小原 三男 一曹 坂本 孝裕 一曹 高松 清一 一曹 澤原 邦恵 一曹 川上 敦 一曹 美観 業</p>	<p>【第十二施設群】</p> <p>一尉 中村 一國 一尉 春木 直 一尉 折笠 忠一 本部管理中隊 一曹 佐々木博文 一曹 宮崎 宜典 二曹 中村 正人 二曹 池田 弘明 三曹 稲田 弘美 第三三六施設中隊 一曹 柴田 周二 第三三七施設中隊 一曹 森 克則 二曹 岡園 喜一 三曹 越智 寿雄 第三四二施設中隊 三曹 石川 吉則 三曹 名取 雅之 第三二二施設器材中隊 一曹 古澤 善之 二曹 2施大 【業務隊】 一尉 小嶋 静生 一曹 齊藤 義則 一曹 小原 三男 一曹 坂本 孝裕 一曹 高松 清一 一曹 澤原 邦恵 一曹 川上 敦 一曹 美観 業</p>	<p>【第十二施設群】</p> <p>一尉 佐々木洋一 一尉 長澤 二郎 二尉 江上 竜一 本部管理中隊 曹長 齊藤 義則 一尉 野間安津男 二曹 竹内 春男 二曹 竺土 成恭 三曹 田中 邦彦 三曹 斎藤 喜昭 第三三五施設中隊 一尉 荒木 資雄 二尉 宮川 治彦 三曹 亀山 浩孝 第三三六施設中隊 三尉 石川 司 第三四二施設中隊 二尉 堀川 秋広 第三二二施設器材中隊 一尉 大橋 正明 一曹 小原 三男 一曹 後藤 潔 一曹 仲武 正人 第三〇二坑道中隊 一曹 岩井中達也 一曹 立柳 弘尚 一曹 野口 義孝 一曹 田中 芳明 一曹 佐々木博文 一曹 宮崎 宜典 二曹 福井 伸一 二曹 間澤 福平 行(-) 松谷 勉 行(-) 木村 建蔵 行(-) 松谷 勉 行(-) 木村 建蔵 三曹 濱中 大國 三曹 濱中 大國 【警務隊】 一尉 吉越 淳一 二尉 櫻 一札</p>	<p>曹候補士入校指定</p> <p>第三三七施設中隊 候補士 河田 健一</p> <p>第三四二施設中隊 候補士 片山 哲夫</p>
--	---	---	---	---	---

おしゃれの店
洋品の **マルカワ**
高橋 邦夫
岩見沢市3条東1丁目 ☎ 221224

株式会社 **本堂建設工業**
本社 〒068-21 三笠市岡山359番地1 TEL 010267-2-7300 FAX 01267-2-5858
札幌支店 〒003 TEL 011-861-1361
札幌市白石区本通り南1の8 FAX 011-865-5034
石狩支店 〒061-32 TEL 0133-73-3111 FAX 0133-73-0757

安心しっかり
愛車もしっかり
車検費用積立プラン
富士火災
担当 松浦直樹
岩見沢支社 TEL 23-5142

宝 石 創業88年 貴金属
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店
(株)太田時計眼鏡店
岩見沢市1条西4丁目
TEL 0126 223353 223354

人としての
時代としての
モニュメントを大切に
渡辺石材工業
有限会社
■本店 〒068 岩見沢市8条東11丁目
TEL (0126) 25-2545・FAX (0126) 23-4567

二人の時間を刻みたい
iwamizawa Heiankaku
Phone. 0126-23-4581 Free Dial. 0120-201143